

公益社団法人日本地球惑星科学連合

2019 年度第 4 回理事会議事録

1. 開催日時 2019 年 11 月 28 日(木) 10:00～13:00

2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 105 号室

3. 出席者 理事数 20 名  
出席理事 16 名 (定足数 11 名 会議成立)

4. 議長 理事 川幡 穂高

5. 出席役員

理事 川幡 穂高  
理事 田近 英一  
理事 中村 正人  
理事 古村 孝志  
理事 阿部 なつ江  
理事 市川 洋 (Zoom 参加)  
理事 小口 千明  
理事 河宮 未知生  
理事 木村 学  
理事 中村 昭子  
理事 成瀬 元 (Zoom 参加)  
理事 浜野 洋三  
理事 日比谷 紀之  
理事 松本 淳 (Zoom 参加)  
理事 道林 克禎  
理事 村山 泰啓  
監事 鈴木 善和  
監事 氷見山 幸夫

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 高橋 幸弘  
大気水圏科学セクションプレジデント 蒲生俊敬  
大気水圏科学セクションバイスプレジデント 佐藤 薫  
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治

学協会長会議議長 榎並正樹

JpGU-AGU Joint Meeting 2020 大会タスクフォース 末広 潔

午後 10 時 00 分、定数に達したので川幡穂高会長が開会を宣した。インターネット電話 ZOOM を利用し、遠隔地から参加する役員が審議に参加できることを確認した。

## 7. 審議事項

### 第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

### 第 2 号議案 委員会委員承認の件

ジャーナル編集委員会の新規委員について案の通り委員を承認した。

### 第 3 号議案 その他

川幡会長から緊急動議があり末広潔氏を次期事務局長として雇用することが提案され、承認した。契約は 2 年間とする。  
浜野理事（現事務局長）から、現状の事務局体制の人数不足と改善の必要性が報告された。

## 8. 報告事項

### 1. 川幡穂高代表理事職務報告

川幡会長より次期会長の選出方法や基準について検討することの提案があり、意見を交換した。CGU (Chinese Geoscience Union) との MOU 締結について、早急に連絡をとり、先方との手続きを開始したい旨の発言があった。

### 2. ウォリス・サイモン理事（グローバル戦略担当）職務報告

ウォリス理事の代理で川幡会長より報告があった。若手研究者グループが EGU, AGU への対応を求める書簡が提出されたことが報告された。

### 3. 田近英一理事（広報普及・30 周年記念事業担当）職務報告

広報普及委員会の活動報告があった。パブリックセッションは小委員会が担当し準備している。冬の高校生講座を、例年通り東京大学理学部の講座と連携して開催するよう準備している。JGL11 月号を発行した。

また、30 周年記念事業について準備状況の報告があった。1. ロゴとキャッチフレーズを作成した。2. 30 周年の経緯について執筆依頼を予定している。3. 記念書籍の出版準備を進めている。主としてこれまでの JGL の TOPICS の執筆者に依頼している。東京大学出版から出版されるものであるが、連合からも出版の助成をすべく支出を検討している。4. パンフレットの刷新についても検討している。セクションに文書を依頼することになると思うとの依頼があった。

提案された内容は、基本的に承認された。

#### 4. 中村正人理事（財務担当）職務報告

中村理事より、財務委員会の活動報告があった。現在決算をとりまとめ中である。今期決算が黒字基調になったことについて、様々な意見が出され、今後の方針について検討した。

12月3日にヒアリングを行う際に財務委員会で議論し詳細を詰めていく。

#### 5. 古村孝志理事（ジオエシックス担当）職務報告

古村理事の代理で事務局より、1月および3月の理事会に合わせてジオエシックスタスクフォース会議を予定しているとの報告があった。

#### 6. 西 弘嗣理事（総務担当）職務報告

日比谷理事より代理で報告があった。

前回の理事会以降に連合が承認した後援について報告があった。

選挙の進行状況について報告があった。選挙は予定通り進行しており、現在プレジデント選挙中である。地球人間圏以外のセクションは候補者1名につき、次期プレジデントが確定した。地球人間圏のみ候補者が2名となり、投票中である。投票締め切りは12月9日なので、地球人間圏所属の正会員の積極的な投票を呼び掛けているところである。

今年度事業報告と、次年度の計画事業報告作成を開始する。セクション・委員会に協力の依頼があった。

「地球惑星科学総合」に関して、前回の理事会で議論された通り、西理事を中心に検討している。日比谷理事より中間報告があった。

「総合」は内容が多岐にわたるので、他のセクションと並列のセクションとしてはなじまないという意見があり、セクションとするのであれば名称を変更するのが良いのではとの意見もあった。

メールで意見交換がなされているが、宇宙惑星科学セクションと地球人間圏セクションからは意見が届いていないので、意見を出してほしいとの呼びかけがあった。

田近理事から、設立時の経緯として、メディアの方、教育関連の方などどのセクションか一つに決められない場合の受け皿として、セクションを設置せずに選挙区分を設置したことが紹介され、ただし横串の組織の問題として今後考えていく必要があるとの指摘があった。

浜野理事から、「総合」の方もどこかのセクションにも属していることと、セクション側で「総合」所属の会員をセクションのメンバーとして意識する必要があるとの指摘があった。

村山理事から、サイエンスセクションが「サイエンス」を議論する場であるとする、と、「サイエンス」の言葉の意味の問題となるとの意見があり、世界的には教育、データサイエンス等もサイエンスと認識されていて、日本も今後「サイエンス」認識を換えていく必要があるとの指摘があった。

木村理事から、選挙区分の問題とは別に、学問全体が古いディシプリンから脱却する必要があり、横串での議論が重要になること、また社会との連携として10年単位で考えた時に連合が行ってきた広報普及、教育活動が重要であること、そうした機能を果たして行く組織作りが重要であり、まずその点を議論していく必要があるとの意見があった。

川幡会長から、タスクフォースを設置し、議論を深めていくこととした。次回の理事会で、正式にタスクフォースを設置するため、議論する内容の抜粋、委員について案を準備してもらうように依頼があった。

中村正人理事から、支出が発生するかどうかについても検討してほしいとの意見があった。

氷見山監事から、所属会員のアイデンティティと代表を明確にした組織とし、セッションとも同等の権限のある組織にしてほしいとの意見があった。

#### 7. 大会運営委員会活動報告

浜野理事より、2020年大会の準備状況について報告があった。10月21日にセッション採択会議、11月11日にプログラム編成会議が行われ、セッションのスケジュールを作成している。12月2日に公開予定である。

大会全般に関して、昨年度からの変更点のうち重要な点が以下のように説明された。ランチタイムを30分延長し、PMのスケジュールが30分後倒しとなる。ポスターのコアタイムはPM3のみになる。ポスターの掲示時間をPM開始時(14:15)までに定める。セッション会場以外でも開催するセッションを試行する。新聞プログラムを廃止する。所属機関払いの制度を廃止する。参加登録費を従来の早期登録料、通常登録料に加え「現地窓口登録料」を設定し3種類とする。消費税増税に伴い、大会に関連する料金の消費税が8%から10%になった。ポスターと展示会場のレイアウトを変更した。オリンピック開催に伴い、展示ホール8より奥は閉鎖される。セキュリティスタッフを外部に委託する予定である。

プログラムについて、英語セッションの比率が全体の67.3%となった。セッションをはじめ皆様のご協力のおかげであるためお礼を申し上げる。

出展者受付を開始し、現在も受け付け中である旨報告があった。

また、今後の大会の開催予定について報告があった。

2024年大会までの、時期と開催場所の予定が配布された。川幡会長から、2025年、2026年についても、可能であれば、予定を検討してほしい旨の発言があった。

#### 8. JpGU-AGU Joint Meeting 2020 大会タスクフォース活動報告

末廣主査より、2020年大会タスクフォースの活動報告があった。

11月11日プログラム委員会の際に来日したAGUのHQスタッフと対面での会議を行い、主にサイエンスプログラム以外の事項について検討した。1月7日の投稿開始までに必要なアナウンスをすべく、連携して準備している。関連する委員会とも連絡し準備を進めたいので協力してほしい旨依頼があった。

なお、TF報告に添付の英文は、AGU100年にあたってのJpGUからの祝文である。

#### 9. 危機管理ワーキンググループ活動報告

道林理事より危機管理ワーキンググループの活動報告があった。前日の11月27日に会議を行った。昨年作成した危機管理マニュアルを改訂する作業をしている。英語版の危機管理マニュアルを作成予定である。興行中止保険についても準備している。

セキュリティを学生バイトからプロ仕様に変更する件に関し、現状の問題点と改善した時点で期待される効果について説明があった。

#### 10. 教育検討委員会活動報告

市川理事より、教育検討委員会の活動報告があった。1. 第2回アースサイエンスウィークジャパン in 静岡を開催した。2. 「全国高校地学教育関係者情報交換会」開催の準備を行っている。3. 2020年大会の教育検討委員会関連のパブリックセッション『学校教育で使用されている地球惑星科学教材』の準備を進めている。4. 第12回地学オリンピックの予選申込みを受け付けている。5. 第14回科学地理オリンピック日本選手権兼第17改国際地理オリンピック選抜大会の申込みを受け付けている。6. 日本学術会議地球惑星科学委員会 地球惑星科学人材育成分科会 地学・地理学初等中等教育検討小委員会の活動報告が

あった。現在提言の小委員会完成を目指している。7. 理数系学会教育問題連絡会シンポジウムの開催準備を進めている。

#### 11. ダイバーシティ推進委員会活動報告

小口理事より、ダイバーシティ推進委員会の活動報告があった。1. 女子中高生夏の学校2019が開催され、連合からも実験実習、ポスター展示、進路相談の企画で参加した。2. 男女共同参画学協会連絡会シンポジウムが開催予定であったが、台風のため中止となり、資料集とポスターが特設サイトに掲載された。3. 大会での保育ルールの準備を進めている。4. キャリア相談コーナーの協力企業である株式会社リサブリックからミニセミナーの提案があったことが紹介された。これは委員会で議論を詰める。

2019年度は保育ルールの運用経費に「寄附金」が含まれていたが、今後、「寄附金」が含まれている場合には、「一部寄附金により運営されています」など、寄附金が実際に役立っていることを参加者が知るのもよいのではないかと、との意見がだされた。

#### 12. 顕彰委員会活動報告

中村昭子理事より、引き続き2020年度フェローおよび学術賞（三宅賞）候補者の募集中である旨報告があり、周知について協力の呼びかけがあった。

フェローの総数は会員数の1%程度との申し合わせがあるが、それを積極的に公開するかどうかの議論を行った。AGUでは「1回に選出するフェローの人数は会員数の0.1%以下」と明記しており、そのように総数や選出数を明記した方が推薦や選出をしやすいという意見があった。継続して検討することとした。

選外の推薦者からの問い合わせへの返答についても検討を続けることとした。

#### 13. 環境災害対応委員会報告

松本理事より、環境災害対応委員会の活動報告があった。連合大会でのパブリックセッション『変化する気候下での強風災害にどう取り組むか』、ユニオンセッション『Research Advances in Recent Disaster Studies Using Remote Sensing and Computational Methodologies』を提案し、準備している。10月18～19日に名古屋で開催された「ぼうさいこくたい」への出展報告があった。パブリックセッションを周知するリーフレットは好評であったが、今後更に改良したい。

他、日本学術会議公開シンポジウム、防災学術連携シンポジウムの紹介があった。

#### 14. ジャーナル編集委員会活動報告

倉本理事の代理で川幡理事より、ジャーナル編集委員会の活動報告とPEPSの出版状況についての報告があった。

#### 15. 情報システム委員会活動報告

村山理事より、情報システム委員会の活動報告があった。1. 日本学術会議データ問題関連の活動について、オープンサイエンス委員会、地球観測将来検討小委員会、WDS小委員会がそれぞれ提言を取りまとめている。2. 内閣府は、研究データ基盤整備と国際展開WGが開催された。3. 関連学協会の動向が紹介された。4. World Data Systemについて、2020年秋には東京での国際会議を計画している。5. ジャパンオープンサイエンスサミット2019が開催決定した。

連合大会で学術会議との連携でオープンデータサイエンスのセッションを開催する。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後1時15分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押

印する。(捺印欄配布時省略)

2019年11月28日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第4回理事会

出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	市川	洋	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	松本	淳	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席監事	鈴木	善和	印
出席監事	氷見山	幸夫	印